



2024年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年7月11日

上場会社名 フロイント産業株式会社 上場取引所 東
コード番号 6312 URL <https://www.freund.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伏島 巖
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 若井 正雄 (TEL) 03-6890-0750
四半期報告書提出予定日 2023年7月11日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年2月期第1四半期の連結業績 (2023年3月1日～2023年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第1四半期	4,200	18.8	△29	—	△17	—	△18	—
2023年2月期第1四半期	3,535	△10.6	△104	—	△43	—	△45	—

(注) 包括利益 2024年2月期第1四半期 71百万円 (△78.5%) 2023年2月期第1四半期 334百万円 (31.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第1四半期	△1.12	—
2023年2月期第1四半期	△2.73	—

(参考) 持分法投資損益 2024年2月期第1四半期 △3百万円 2023年2月期第1四半期 △4百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年2月期第1四半期	22,605	13,854	61.3	827.39
2023年2月期	22,758	14,117	62.0	843.09

(参考) 自己資本 2024年2月期第1四半期 13,854百万円 2023年2月期 14,117百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2024年2月期	—	—	—	—	—
2024年2月期(予想)	—	0.00	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年2月期の連結業績予想 (2023年3月1日～2024年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	1.7	700	55.0	650	16.3	450	—	26.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料8ページ(3)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年2月期1Q	18,400,000株	2023年2月期	18,400,000株
② 期末自己株式数	2024年2月期1Q	1,655,480株	2023年2月期	1,655,480株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年2月期1Q	16,744,520株	2023年2月期1Q	16,744,520株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	11
3. その他	12
受注及び販売の状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に関する行動規制が緩和され、経済活動の正常化が進む中で、景気は緩やかに持ち直しの動きが見られました。しかしながら、ウクライナ情勢の長期化等によるエネルギー価格の高騰や物価の上昇に加え、世界的な金融引締め等が続く中で、海外景気の下振れが国内景気に影響を及ぼすことが懸念され、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの主要ユーザーであります医薬品業界は、薬価改定、医療費抑制策の強化や研究開発費の高騰などへの対応に迫られている一方、老朽化等による新たな工場建設、設備更新も行われております。また、ジェネリック医薬品業界では、政府が進めてきた普及促進策の効果が一巡したものの、一部メーカーの製造体制不備により、業界全体として品質や安定供給に関する体制整備が求められ、その対応として、大手ジェネリックメーカーを中心に、工場新增設等の設備増強が計画されております。

国外に目を向けると、世界的な人口増と高齢化、新興国での生活水準向上に伴う医薬品の需要増が期待される中、当社グループといたしましては、日本、アメリカ、インド、イタリアに加え、この6月には中国での拠点活動を開始し、グローバル5極体制がよいよスタートしました。かかる体制のもと、グループ各社とのシナジーをより追求し、日本国内のみならず海外市場でのプレゼンス向上を目指しております。

化成品部門においても営業力とともに生産体制の一層の強化を図り、お客様の真のニーズに技術力をもって応える体制を整備して、開発・製造・販売のグローバル展開を積極的に推進しております。

当連結会計年度は、連結売上高200億円、連結営業利益7億円の達成を目指しております。

こうした中、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は42億円（前年同期比18.8%増）、営業損失は29百万円（前年同期は1億4百万円の営業損失）、経常損失は17百万円（前年同期は43百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は18百万円（前年同期は45百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

・機械部門

国内受注は引続き順調に推移しております。一方、一部部品の調達及び出荷までのリードタイムの長期化は、未だ改善されていない状況も続いております。

前第1四半期連結累計期間では、米国子会社において労働需給の逼迫やサプライチェーンの混乱による部材調達の長期化の影響を受けて、出荷が遅延しておりましたが、当第1四半期連結累計期間では着実に出荷を実現し、業績面も大きく回復してまいりました。

この結果、売上高は25億56百万円（同22.9%増）、セグメント損失は76百万円（前年同期は1億56百万円のセグメント損失）となりました。

・化成品部門

過去最高の売上高を記録した前連結会計年度を上回り、医薬品添加剤及び食品品質保持剤とも堅調に推移しております。

医薬品添加剤は、前第1四半期連結累計期間では翌四半期に時期がズレ込んだ高利益率製品が、当第1四半期連結累計期間では例年通り販売となった結果、売上高、利益とも大きく増加となりました。

食品品質保持剤は、ネット通販のパンの販売が好調であったことによる需要が引続き底堅く推移し、増収増益となりました。

この結果、売上高は16億43百万円（同13.0%増）、セグメント利益は2億7百万円（同7.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億53百万円減少し、226億5百万円となりました。増減の主な要因は、仕掛品が8億19百万円、電子記録債権が2億3百万円、ソフトウェア仮勘定が1億14百万円増加したものの、受取手形、売掛金及び契約資産が6億56百万円、現金及び預金が6億34百万円減少したことによるものであります。

また、当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ1億9百万円増加し、87億50百万円となりました。増減の主な要因は、支払手形及び買掛金が3億13百万円、契約負債が25百万円減少したものの、短期借入金が2億29百万円、電子記録債務が1億8百万円、賞与引当金が1億6百万円増加したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億62百万円減少し、138億54百万円となりました。この主な要因は、為替換算調整勘定が96百万円増加したものの、利益剰余金が3億53百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月期の業績予想につきましては、本資料の公表時点において、2023年5月8日の決算短信で発表しました通期業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,917,128	3,283,012
受取手形、売掛金及び契約資産	4,915,548	4,259,498
電子記録債権	619,666	823,072
商品及び製品	760,326	764,736
仕掛品	2,717,692	3,537,154
原材料及び貯蔵品	2,108,285	1,925,947
前払費用	199,546	201,850
その他	647,052	742,974
貸倒引当金	△15,226	△16,528
流動資産合計	15,870,019	15,521,719
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,005,809	2,019,820
土地	1,145,522	1,146,159
その他（純額）	1,290,121	1,314,200
有形固定資産合計	4,441,453	4,480,179
無形固定資産		
ソフトウェア	32,499	29,538
ソフトウェア仮勘定	560,486	675,074
顧客関連資産	324,848	328,046
その他	49,621	46,855
無形固定資産合計	967,456	1,079,515
投資その他の資産		
繰延税金資産	366,398	415,294
その他	1,118,946	1,113,815
貸倒引当金	△5,400	△5,400
投資その他の資産合計	1,479,946	1,523,709
固定資産合計	6,888,855	7,083,404
資産合計	22,758,875	22,605,124
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,896,836	1,583,218
電子記録債務	833,521	942,022
短期借入金	896,092	1,125,363
未払法人税等	130,135	47,669
契約負債	2,913,026	2,887,954
賞与引当金	220,553	327,194
役員賞与引当金	17,185	7,900
その他	907,894	1,008,116
流動負債合計	7,815,246	7,929,439
固定負債		
リース債務	408,206	408,075
退職給付に係る負債	267,351	263,585
資産除去債務	67,263	67,296
役員退職慰労引当金	12,096	13,734
その他	71,522	68,769
固定負債合計	826,439	821,461
負債合計	8,641,685	8,750,901

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,035,600	1,035,600
資本剰余金	1,289,513	1,289,513
利益剰余金	11,899,999	11,546,319
自己株式	△773,363	△773,363
株主資本合計	13,451,750	13,098,070
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,992	27,924
為替換算調整勘定	612,727	709,135
退職給付に係る調整累計額	19,719	19,091
その他の包括利益累計額合計	665,439	756,152
純資産合計	14,117,189	13,854,222
負債純資産合計	22,758,875	22,605,124

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)
売上高	3,535,718	4,200,237
売上原価	2,331,587	2,858,637
売上総利益	1,204,131	1,341,599
販売費及び一般管理費	1,308,480	1,371,148
営業損失(△)	△104,349	△29,548
営業外収益		
受取利息	14	0
受取配当金	3,949	4,198
受取技術料	5,098	5,137
為替差益	52,198	8,670
その他	6,162	12,746
営業外収益合計	67,423	30,753
営業外費用		
支払利息	1,841	14,720
持分法による投資損失	4,917	3,256
その他	140	383
営業外費用合計	6,899	18,360
経常損失(△)	△43,825	△17,155
特別利益		
固定資産売却益	13,506	142
特別利益合計	13,506	142
特別損失		
固定資産売却損	1,309	—
固定資産除却損	18	3,936
投資有価証券評価損	1,929	6,285
特別損失合計	3,257	10,221
税金等調整前四半期純損失(△)	△33,576	△27,235
法人税等	12,057	△8,446
四半期純損失(△)	△45,633	△18,789
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△45,633	△18,789

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)
四半期純損失(△)	△45,633	△18,789
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15,159	△5,068
為替換算調整勘定	385,662	97,665
退職給付に係る調整額	2,529	△627
持分法適用会社に対する持分相当額	7,209	△1,257
その他の包括利益合計	380,241	90,712
四半期包括利益	334,607	71,923
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	334,607	71,923

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(会計方針の変更)

(棚卸資産の評価方法の変更)

一部の在外連結子会社における棚卸資産の評価方法について、従来、先入先出法による低価法を採用していましたが、当第1四半期連結会計期間より、総平均法による低価法に変更しております。

この評価方法の変更は、システムの変更を契機に評価方法を見直したことに伴うものであります。なお、この変更による影響額は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	機械部門	化成品部門	計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	2,080,664	1,455,054	3,535,718	—	3,535,718
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,080,664	1,455,054	3,535,718	—	3,535,718
セグメント利益又は損失(△)	△156,911	192,542	35,631	△139,980	△104,349

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失の調整額△139,980千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 地域に関する情報

売上高

当社では、「四半期財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者に有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報(売上高)を開示しております。

(単位:千円)

日本	米国	中南米	欧州	アジア	その他	計
2,522,956	89,890	363,519	190,918	339,388	29,045	3,535,718

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎として、国又は地域に分類しております。

2. 本邦以外の地域区分は、地理的近接及び事業活動との相互関連性を勘案して決定しており、各区分に属する主な国又は地域は、次のとおりであります。

- (1) 中南米……………ブラジル等
- (2) 欧州 ……………フランス、イタリア、英国等
- (3) アジア……………中国、インド等
- (4) その他……………中東等

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	機械部門	化成品部門	計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	2,556,527	1,643,710	4,200,237	—	4,200,237
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,556,527	1,643,710	4,200,237	—	4,200,237
セグメント利益又は損失(△)	△76,259	207,094	130,834	△160,383	△29,548

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失の調整額△160,383千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 地域に関する情報

売上高

当社では、「四半期財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者に有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報(売上高)を開示しております。

(単位:千円)

日本	米国	中南米	欧州	アジア	その他	計
2,556,808	590,951	372,746	155,132	387,041	137,557	4,200,237

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎として、国又は地域に分類しております。

2. 本邦以外の地域区分は、地理的近接及び事業活動との相互関連性を勘案して決定しており、各区分に属する主な国又は地域は、次のとおりであります。

- (1) 中南米……………ブラジル、メキシコ等
- (2) 欧州 ……………フランス、イタリア、英国等
- (3) アジア……………中国、インド等
- (4) その他……………中東、アフリカ等

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第1四半期連結累計期間(自 2022年3月1日 至 2022年5月31日) (単位:千円)

	報告セグメント		
	機械部門	化成品部門	合計
日本	1,175,430	1,347,525	2,522,956
米国	89,770	120	89,890
中南米	363,519	—	363,519
欧州	133,474	57,444	190,918
アジア	289,423	49,964	339,388
その他	29,045	—	29,045
顧客との契約から生じる収益	2,080,664	1,455,054	3,535,718
外部顧客への売上高	2,080,664	1,455,054	3,535,718

当第1四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年5月31日) (単位:千円)

	報告セグメント		
	機械部門	化成品部門	合計
日本	989,534	1,567,273	2,556,808
米国	590,951	—	590,951
中南米	372,746	—	372,746
欧州	133,035	22,097	155,132
アジア	333,614	53,427	387,041
その他	136,645	912	137,557
顧客との契約から生じる収益	2,556,527	1,643,710	4,200,237
外部顧客への売上高	2,556,527	1,643,710	4,200,237

3. その他

受注及び販売の状況

(1) 受注高

(単位：千円)

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)	
	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)
機械部門	4,043,512	129.1	4,200,255	103.9

- (注) 1. 化成品部門は、販売計画に基づいた見込生産によっておりますので記載を省略しております。
2. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引は相殺消去しております。

(2) 受注残高

(単位：千円)

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)	
	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)
機械部門	13,026,352	181.5	14,607,614	112.1

- (注) 1. 化成品部門は、販売計画に基づいた見込生産によっておりますので記載を省略しております。
2. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引は相殺消去しております。

(3) 販売実績

(単位：千円)

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)
機械部門	2,080,664	58.8	2,556,527	60.9
化成品部門	1,455,054	41.2	1,643,710	39.1
合計	3,535,718	100.0	4,200,237	100.0

- (注) 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引は相殺消去しております。